



～確かな成長の記録としての「あゆみ」～

明日の台風が心配されるので、今日、終業式を行い、全校で1学期の振り返りをしました。196名の子どもたちの「できた」「分かった」を目指して取り組んできた成果と課題です。

元気な子（健康で忍耐力のある子ども）

体育の時間を中心に、太陽の時間などの外遊びなどにより、元気な体づくりを進めてきました。運動会では最後まで粘り強く取り組む姿を見ることができ、心のたくましさも感じています。

また、健康な体づくりの基となる基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ご飯」が、自分で意識できるようになってきました。1年生も小学校の生活リズムがつかめ、4月に比べると見通しをもって行動したり、がまんしたりすることができるようになっていきます。夏休み中の生活が2学期に大きく影響します。ぜひこのよき習慣を維持していきたいと思えます。

けがで保健室に来た児童数は、のべ250人（昨年度153人）。前を見ないで走って転ぶ、友達とぶつかるなど、不注意からくるけががとて多いです。危険予知力、危機回避力が必要です。

やさしい子（心豊かで思いやりのある子ども）

学校生活の基盤となる「楽しい学級づくり」を大切にするために、子どもたちが自分たちで話し合い、友達とのかかわりを考える学級会活動や学級遊びの時間を多く取り入れました。また、ピアサポートや縦割り班活動、地域の方とのふれあい活動に取り組みました。特に、ピアサポートでは、6年と1年、5年と3年、4年と2年がふれあいタイムなどを通して楽しい時間を過ごすことができました。上学年はリーダーシップを発揮する機会が多くなり、少しずつ自信をもつことができるようになってきました。

しかし、友達とのかかわりにおいて、これからもさらに付けていかなければいけない力があります。それは、相手に対して「思いやりのある言葉をつかう力」です。「ばか・うざい・むりー」「そんなこともできんのか？」などの言葉が耳に飛び込んでくる場合があります。家庭ではどうでしょうか？「口ぐせだから直らない」ではなく、「絶対使わない」という強い気持ちが必要です。もちろん、友達に対して「なぐる・ける」などの行為は許されません。「ただふざけて、なんとなく、友達がやっていたから・・・」という軽い気持ちで、友達を傷つけることがないように、1人1人が強く心にとめておく必要があります。

ただ、子どもたちは、まだまだこれから成長していく発達段階にありますから、いろいろな失敗もあります。自分がしたことを日々振り返りながら、社会規範を身に付け、成長していけるよう、学校と家庭が協力して取り組んでいきたいと考えています。

考える子（創造性豊かで主体性のある子ども）

「分かる授業づくり」のために、めあてや活動内容をはっきりさせたり、ICT機器を使って視覚的支援を工夫したりしました。また、算数科における少人数（習熟度別）指導を3～6年生で実施し、子どもたちが苦手意識をもつ算数科において基礎基本の定着を図っています。

1学期は、1年間の土台をつくる期間でした。「あゆみ」を子どもさんと一緒に見て振り返りながら、夏休みの計画を立ててみてください。また、安全面での配慮もよろしく願いいたします。

裏に続きます

安全で元気な夏休みを過ごすために

(生徒指導の先生からの話)

① 自転車

○ヘルメット ○スピード ○右左

② ものやお金

※かしたり，かりたりしない。

③ みんなが集まる場所

※図書館，公民館などでのマナーを守る。

